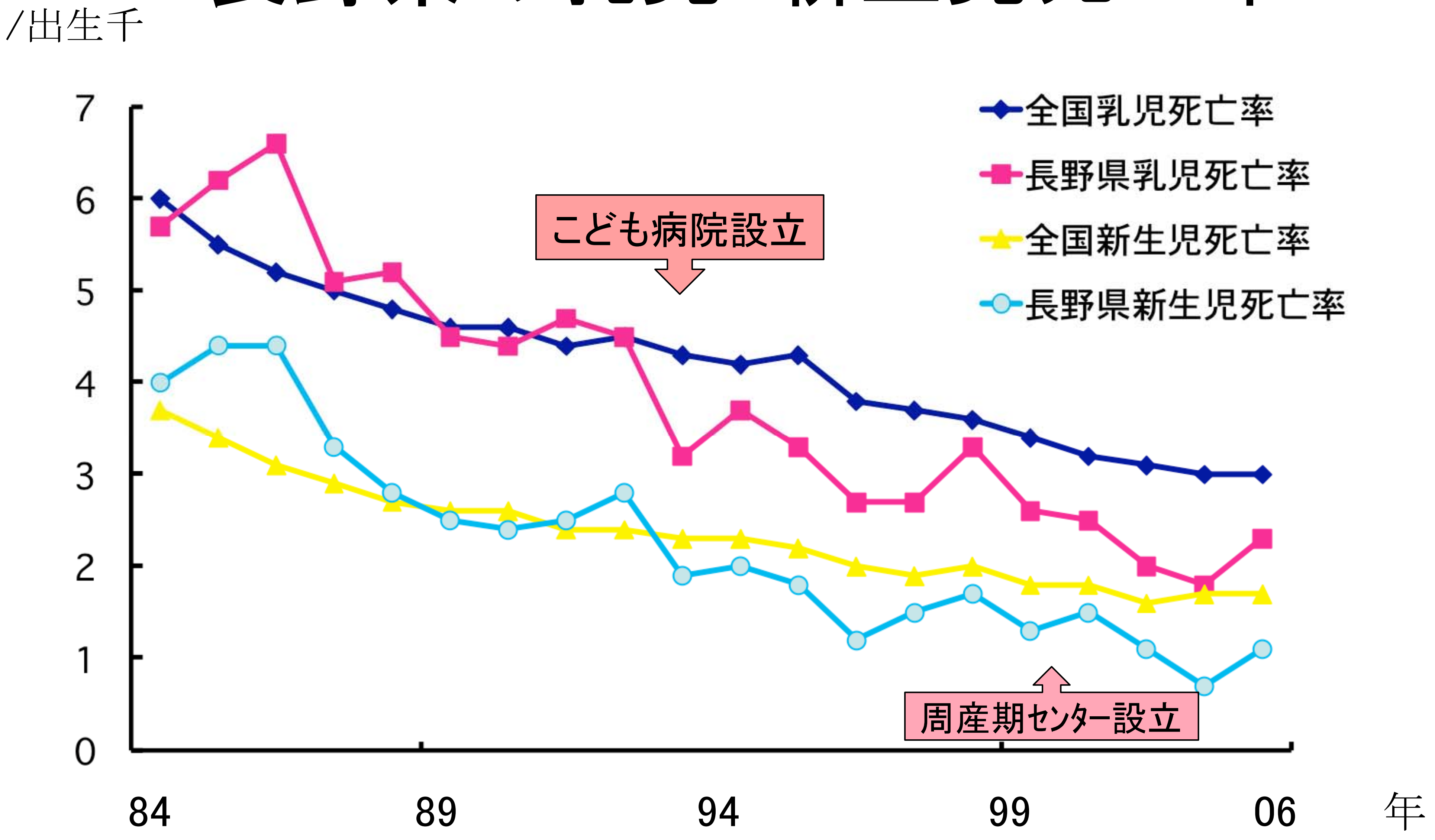
長野県の乳児･新生児死亡率



長野県立こども病院
1995年5月開院、
2000年9月総合周産期母子医療センター開設

産科:
MFICUベッド数　6床
後方ベッド数　18床
医師スタッフ:　7人(欠員1名）
看護師30名(欠員2名）

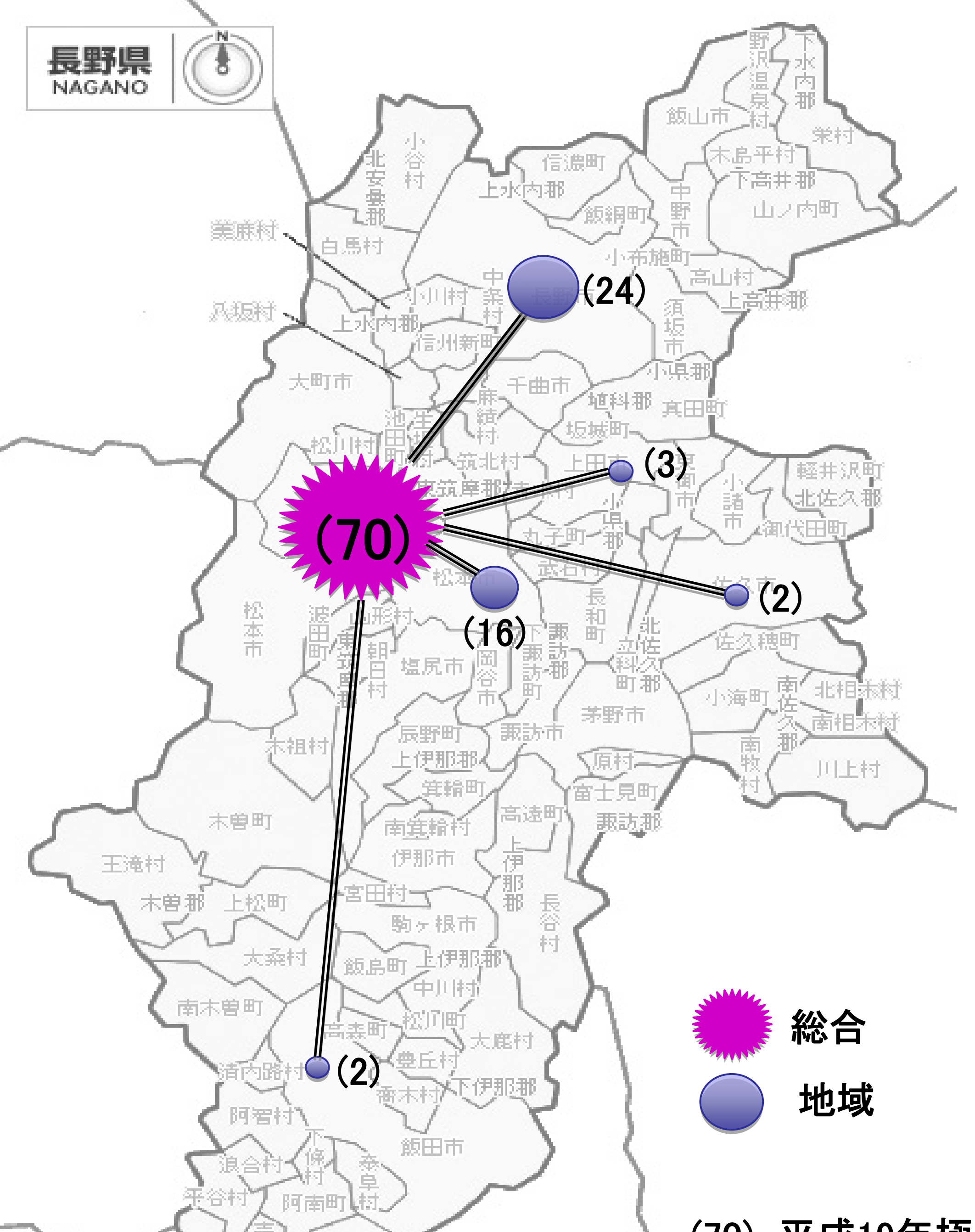
年間分娩数　200
母体搬送受入数　130
（平成19年）

新生児科:
NICUベッド数 21床
GCUベッド数　21床
新生児科医師スタッフ: 8人
クリニカルフェロー: 2人
後期研修医:2人
看護師64名（欠員11名）

年間入院数　300人
県内超低出生体重児の7割
先天性心疾患、外科疾患
脳外科疾患すべて

長野県立こども病院
総合周産期母子医療センターの役割

1. <u>地域の周産期医療施設とのネットワーク作り</u>
2. 産科医･小児科医･助産師･看護師の育成
3. 療育、教育と連携した成長、発達フォローアップと在宅支援



長野県周産期医療システム

・分娩数 約19,000/年

・総合周産期センター 1施設
県立こども病院（NICU 21床）

・地域周産期センター 5施設
長野赤十字病院（NICU 9床）
信州大学病院(NICU6床）
長野病院
佐久総合病院
飯田市立病院

（70）平成19年極低出生体重児数